

1 単元について

対 象 学 年	小学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	第1学年及び第2学年 「A 基本の運動」(器械・器具を使つての運動遊び)
単 元 名	「めざすぞ ぼうけん王 ルフィの旅」 (全5時間)
単 元 目 標	<p>(1) 技 能(運動の技能) 両手を着き、体を小さく丸めて回ったり、両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動したりすることができる。</p> <p>(2) 態 度(運動への関心・意欲・態度) 順番やきまりを守り、仲間の運動する姿を見合つて、仲よく活動することができる。</p> <p>(3) 学 び 方(運動についての思考・判断) 仲間の運動する姿から、動きのよさや伸びを見つけることができる。</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 単元指導計画の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本の運動は、児童の活動欲求を十分に満足させる運動である。児童がどのような活動欲求をもっているかを踏まえた上で、期待感のふくらむ題材との出会いを工夫する。 ・児童がいろいろな運動遊びを楽しんで行う中で、体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを体得できるような場の設定をする。 ・固定施設や器具の特性を生かしたいろいろな運動遊びの中で、誰もが「できる楽しさ」が味わえるような活動の条件設定をし、意欲化を図る。 ・活動の欲求の高まりを充足させるために、身に付けさせたい動きができる簡単な場から、活動欲求の高まりが満足できる場へと変化させたり、工夫したりする。 <p>単位時間の工夫 <計画の場面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習の進め方や全体計画会、グループ計画会の仕方を具体的に話したり、掲示物で示したりする。 ・グループ計画会については児童の実態に合わせて行い、行う場合については会の中に入って、助言することができるようにする。 <p><展開の場面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の意欲を高める動物をまねた動き(ウサギ跳び、カエルの足うち、ウマ跳び)などの手軽な準備運動を取り入れ、運動の基礎となる動きをできるだけ多く体感できるようにする。 ・どの子も、「できそうだ」「やってみたい」という意欲をもち続け、楽しく多様な動きのできる場の設定をする。 ・運動の順番を守ったり、素早く集合・整列したり、安全確認の声をかけ合ったりすることにより、グループやペアでまとまって運動できるようにする。 ・自分の動きを更に工夫するために、仲間の動きを見合う時間を確保する。 ・運動量の少ない児童や活動条件に合わない動きをする児童には、簡単に行える動きに取り組ませたり、仲間の動きを参考にさせたりするなど、個に応じた指導の充実を図る。 <p><評価の場面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できた」「できなかった」だけで、個人やグループの評価をするのではなく、互いの伸びやがんばり、楽しくできたかについても認め合うことにより、次時への見通しや意欲がもてるようにする。 ・使用する器械・器具が多いため、その準備と後片付け・安全点検などの時間も考慮する。
参 考 資 料	<p>資料1：場の設定・・・動きの観点や使用器具の説明 資料2：学習カード・・・個人の学習のあしあとを残したり、振り返ったりするために使用</p>

2 単元の評価規準

	ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能
内容ごとのまとめと評ま価り規準	だれとでも仲よく基本の運動としてのいろいろな運動遊びに進んで取り組もうとする。 また、順番やきまりを守って仲よく運動をしようしたり運動をする場所や器械・器具の安全に気を付けながら、運動をしようとする。	基本の運動としてのいろいろな運動遊びの仕方を知り、活動を工夫している。	基本の運動としてのいろいろな運動遊びを楽しく行うための体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の運動としての易しい運動遊びに進んで取り組み楽しく運動しようとしている。（楽しさ体験） ・運動の順番を守ったり、固定施設、器械・器具などの使い方のきまり、運動の仕方のきまりを守ったりして仲よく運動しようとしている。（社会的態度） ・固定施設、器械・器具などの安全を確かめようとしている。（安全な態度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方や活動の仕方や行い方を理解している。（知識・理解） ・自分や仲間の伸び、動きのよさを振り返っている。（評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット、跳び箱などの器械器具を使って、逆さ感覚や回転する感覚、腕支持の感覚を身に付ける運動遊びをし、自分の体をいろいろな動かすことができる。（技能向上）
単位時間における具体的評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して準備や後片付けをしたり、順番やきまりを守って練習したりしようとしている。 ・仲間の運動する姿を見て、動きができていたかどうかを教え合って活動しようとしている。 ・できるようになった動きを精一杯発表したり、仲間のよさやがんばりを言葉や拍手で認めたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方やきまり、それぞれの活動の条件に合った動きを理解している。 ・仲間や自分自身のできるようになった動きを、具体的な姿や事実で振り返っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両手を着き、マットで回ったり、両腕支持で逆さになって移動したりできる。 ・両手を着き、体を小さく丸めて回ることができる。 ・両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動することができる。

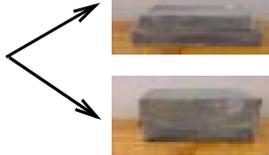
3 指導と評価の計画 (全5時間)

(1) 単元指導計画

器械・器具を使つての運動遊び

単元指導計画

K 小学校

条件 過程	学 習 内 容		学 習 活 動	教 師 の 指 導		
	運 動 の 側 面	集 団 の 側 面	運 動 の 側 面 ・ 集 団 の 側 面	運 動 の 側 面	集 団 の 側 面	
計 画 展 開	1	ねらい 「両手を着き、体を小さく丸めて回ったり、両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動したりすることができる」	ねがい 「順番やきまりを守り、仲間の運動する姿を見合って、仲よく活動することができる」	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話聞き、単元全体の見通しをもつ ・1グループ4人程度(全8グループ)グループ間等質、グループ内異質 ・準備や後片付けの仕方・準備運動を知る ・リーダーとグループ内ペアの決定 ・きまりの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード、場面設定を図示し、具体的に学習の進め方を説明する ・ルフィと共に、探検に出掛けるという雰囲気づくりをし、意欲を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の運動する姿の見合い方や、きまりの守りぶりについて話し、めざす姿をつかませる ・学習のきまりやリーダーの指示に従えない子には守ることを価値を話し、グループや個の関わりを意図的に仕組む
	2	両手を着き、マットで回ったり、両腕支持で、逆さになって移動したりできる	順番を守って、自分の番になったら「いくよ」と合図してから運動することができる	<p>【場の設定】 くねくね道 へび岩 坂道 一本橋</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ペア毎に探検に出掛ける ・各場所で、「たからもの」を手に入れ、体に貼る 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場の活動条件に合った動きが見つけれられるように助言し、見つけた動きを価値付ける ・マットの幅や障害物の高さを変え、子どもの実態に合わせて場を変化させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・順番を守っている子や安全に気を付けている子を認め、広める ・ペアの子の顔を見て、大きな声で「いくよ」の声をかけている子を価値付ける
	3	両手を着き、体を丸めて回ることができる	「いくよ」と言われたら「いいよ」と応え、仲間の運動する姿を最後まで見ることができる	<p>(洞穴) 洞穴ができた野原に挑戦する</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・体を丸めて回れるように場を変化させる(洞穴設置) ・洞穴の場で、障害物に触ってしまう子には、おへそやひざを見て回るように意識させる ・まっすぐに回れない子には両手を開き、力を入れて回るように意識させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の運動する姿を最後まで見ていないペアには、見る位置を示し、一緒に動いてみる
	4	両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動できる	仲間の運動する姿を最後まで見て、声をかけ合って活動することができる	<p>(ゴムゴム小川) 岩が大きくなった川に挑戦する</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・腰を高く上げて移動できるように岩を大きくする ・腰が高く上がらない子には「ゴムゴムの手だよ」「両手でしっかりゴムゴムの実をつぶして」「上に」などの声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の運動する姿をよく見て、活動条件に合った動きができたかどうかや具体的な姿や事実で話している子を紹介し、広める
評 価	5	【発表会】 それぞれの場でできた動きを、仲間に発表することができたか	仲よく活動したことを、仲間に発表することができたか	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの活動全体を振り返ることができるようになったことやがんばりの姿仲間と活動してうれしかったこときまりの守りぶり 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し挑戦したり、できるようになったりした姿を認める 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲よく活動できていた児童や声をかけ合い活動できていたグループの具体的な姿を紹介し、認める

(2) 単元評価計画

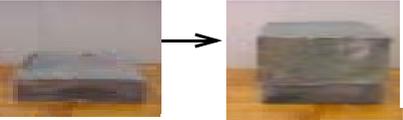
器械・器具を使つての運動遊び 単元評価計画

K小学校

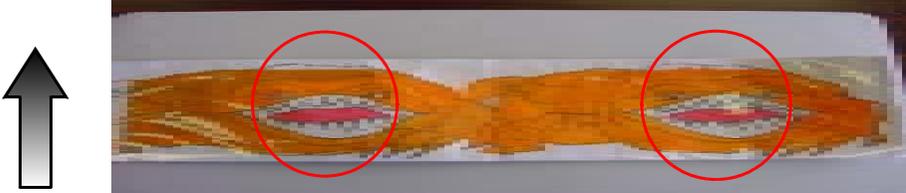
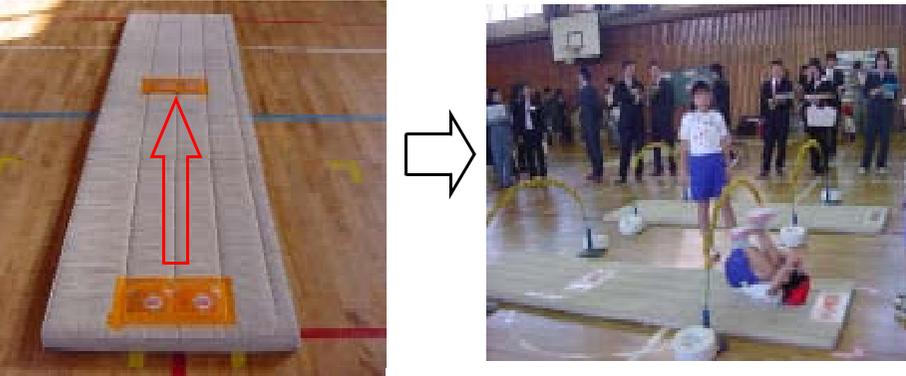
条件 過程	学 習 内 容		観 点 別 評 価 規 準 及 び 方 法			
	運 動 の 側 面	集 団 の 側 面	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	
計 画 展 開 評 価	1	ねらい 「両手を着き、体を小さく丸めて回ったり、両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動したりすることができる」	ねがい 「順番やきまりを守り、仲間の運動する姿を見合つて、仲よく活動することができる」		・学習の進め方やきまり、それぞれの活動の条件に合った動きを理解している (観察)	
	2	両手を着き、マットで回ったり、両腕支持で、逆さになって移動したりできる	順番を守つて、自分の番になったら「いくよ」と合図してから運動することができる	・仲間と協力して準備や後片付けをしたり、順番やきまりを守つて練習したりしようとしている (学習カード・観察)		・両手を着き、マットで回ったり、両腕支持で逆さになって移動したりできる (学習カード・観察)
	3	両手を着き、体を丸めて回ることができる	「いくよ」と言われたら「いいよ」と応え、仲間の運動する姿を最後まで見ることができる			・両手を着き、体を小さく丸めて回ることができる (学習カード・観察)
	4	両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動できる	仲間の運動する姿を最後まで見て、声をかけ合つて活動することができる	・仲間の運動する姿を見て、動きができたかどうかを教え合つて活動しようとしている (学習カード・観察)		・両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動することができる (学習カード・観察)
5	【発表会】 それぞれの場でできた動きを、仲間に発表することができたか	仲よく活動したことを、仲間に発表することができたか	・できるようになった動きを精一杯発表したり、仲間のよさやがんばりを言葉や拍手で認めたりしようとしている(学習カード・観察)	・仲間や自分自身のできるようになった動きを、具体的な姿や事実で振り返っている(学習カード・発言)		

4 単位時間の授業展開例

- (1) 本時のめあて
 技能の内容：両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動できる。
 態度の内容：仲間の運動する姿を最後まで見て、声をかけ合って活動することができる。
 学び方の内容：仲間や自分自身のできるようになった動きを、反省会で振り返ることができる。
- (2) 本時の位置 4 / 5時
- (3) 展開案

条件 過程	学 習 内 容		学 習 活 動	教 師 の 指 導	
	運 動 の 側 面	集 団 の 側 面	運 動 の 側 面 ・ 集 団 の 側 面	運 動 の 側 面 へ の 指 導	集 団 の 側 面 へ の 指 導
計 画	<p>両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動できる。</p> <p>・個人のめあての把握 ・新たに加わった場の条件の把握</p>	<p>仲間の運動する姿を最後まで見て、声をかけ合って活動することができる。</p> <p>・めざす仲間像、きまりの把握</p>	<p><準備、準備運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に場を準備し、動き遊びをする ・終わったら、サーキットをする <p><全体計画会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のめあて(やりたいこと)を発表する ・一人一人のめあてから、みんなの目指す全体のめあてをもつ ・活動のきまりや約束を確かめる 	<p>・本時、より高めたい動きのめあてをはっきりもっている子を取り上げ、価値付ける</p> <p>・ルフィになって、探検に出掛けるという雰囲気をお大切に、たからものをたくさん手に入れてこようとする意欲を高める</p>	<p>・用具の準備が安全にできているか確認する</p> <p>・前時までの学習の中から、願う仲間の姿を取り上げ、具体的にどこで、どんな声をかけたり、拍手したりするのかを話し、本時で目指す仲間の姿を明確にする</p>
展 開	<p>両腕を伸ばし、逆さになって移動できる</p> <p>場の条件が変化し、腰を高く上げて移動することが分かる</p> <p>両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動できる</p>	<p>合図をし合い、ペアの運動する姿を最後まで見ることができる</p> <p>仲間の運動する姿を見て、声をかけ合っていく事の大切さを確認しペア練習のめざす姿を知る</p> <p>ペアの運動する姿を見て、動きができていたかどうかを教えることができる 「できていたよ」「オッケー」「少し触ったよ」「たからものゲット」</p>	<p><前半活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア毎に探検に出掛け、条件に合った動きができたならたからものを手に入れ、動きを楽しむことができる ・ペアの運動する姿を、必ず最後まで見ることができる <p>【場の変化】</p>  <p>後半活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゴムゴム小川」が変化した「海賊島」をペア毎に探検に出掛け、動きを楽しむことができる ・ペアの運動する姿を必ず見て、動きができていたかどうかを教えることができる 	<p>・「海賊島」の中で、たくさんたからものが手に入るように、どんどん探検に出掛けているペアを認める</p> <p>・「海賊島」のストーリーを工夫し、両腕をしっかり伸ばし、腰を高く上げて移動するように、「ゴムゴム小川」の場を変化させる</p> <p>・変化した場を十分探検できるように、前半活動より後半活動の時間を長く確保する</p> <p>【技能】</p> <p>両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動することができる(ゴムゴム小川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腕で支えることができない子には、「両手でしっかりゴムゴムの実をつぶそう」と助言する。 ・腰を高く上げて、移動できない子には、「上に」「強く」「カエルの足うちみたいにしてこらん」と助言する。 	<p>・順番を守って、練習が安全にできているかどうか確かめ、できていなければ、「いくよ」「いいよ」の声のかけ方や順番の待ち方を助言したり、教師が手本をみせたりする</p> <p>・前半活動で活発に声をかけ合っていたペアやグループを紹介し認め、価値付ける</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>仲間の運動する姿を見て、動きができたかどうかを教え合って活動しようとしている</p> <p>・声のかけ合いが少ないペアには仲間の運動する姿を見る位置を示し、どんな言葉をかければよいか助言する</p>
評 価	<p>・本時できるようになった事やがんばりを認め合い、次時への課題をもつことができる</p>	<p>・本時のきまり、約束の守りぶりのよいグループや仲間と声をかけ合って活動できた姿を認めることができる</p>	<p><全体反省会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時よりできるようになった自分や仲間の動き、仲間と活動してうれしかった事を発表しその価値を認め合う ・次時のめあてをもつことができる 	<p>・前時と比べて、著しくできるようになった子や伸びがあった子を紹介し、価値付け、次時への意欲化を図る</p>	<p>・仲間の運動する姿を最後まで見て、声をかけ合って活動していたペアやグループを紹介し、価値付け、次時への意欲化を図る</p>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

<p>評価規準</p>	<p><技能> 両手を着き、体を小さく丸めて回ることができる (第3時間目に評価)</p>	<p><技能> 両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動することができる (第4時間目に評価)</p>
<p>評価方法</p>	<p>学習カード・観察</p>	<p>学習カード・観察</p>
<p>「努力を要する状況」と判断される児童の状況</p>	<p>まっすぐに回れず、曲がってしまう スムーズに回らず、背中からバタンと倒れてしまう</p>	<p>岩に触ったり、すぐ着地したりしてしまう</p>
<p>その要因</p>	<p>の児童 ア 両手着手ができず、支持が十分でないため、横に曲がってしまう の児童 ア 頭頂部が着き、背筋が伸びてしまう</p>	<p>の児童 ア 腰が高く上がらないため、滞空時間が短く、遠くに着地できない・</p>
<p>指導の手立て</p>	<p>【 の児童に対する手だて】 ・しっかりと両手着手をし、十分な支持ができるように、着手する位置に怪獣の絵を貼り、両方の手のひらで怪獣を押しつぶしてから回るようにする ・「手のひらの魔法の粉で怪獣を倒してから回るよ」「両方の手に力を入れて怪獣を押しつぶすよ」などの声を必ずかける</p>  <p>絵はまっすぐに両手着手できるような幅や向きに設置 赤い丸は、手の着く位置を示している</p> <p>【 の児童に対する手だて】 ・「おへそを見て」「ひざを見てまわってごらん」などの声かけだけでなく、「クルン・クルン・ルフィみたい」「洞穴にさわると壁がおちてくるよ」などのストーリーに関わる声かけもする</p> 	<p>【 の児童に対する手だて】 ・しっかりと両腕を伸ばし体を支えられるように、着手する位置に絵を貼り、両腕を伸ばすことを意識できるようにする ・「両手でしっかりゴムゴムの実をつぶして」「ルフィのゴムゴムの手だよ」などストーリーに関わるような声や「上に」「強く」「カエルの足うちみたいに」「岩に触らないように川を渡ってごらん」などの声をかける ・体格・技能の差を考慮しながらも、どの子も前時より腰が高く上がる動きになるように、2種類のコースを選択できるようにする</p>  <p>高さ 10 cm 幅 30 cm</p> <p>コース 高さ 20 cm</p> <p>コース 高さ 30 cm</p>

資料1 場の設定

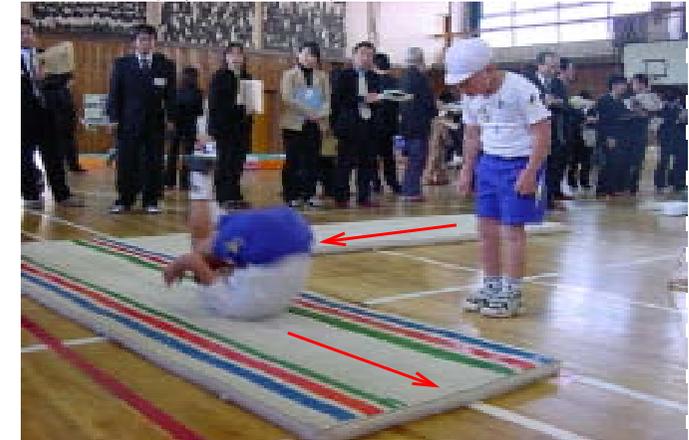
- 坂道
 (動きの観点)
 ・坂道にいる動物に触れながら、回る(前、後、横)
 (使用器具)
 ・踏み切り板1つ、マット



- へび岩
 (動きの観点)
 ・肋木にまいてあるへびに触れないで、逆さになって移動する
 (使用器具)
 ・肋木、ひも(へび)、マット、



- くねくね道
 (動きの観点)
 ・3種類の道の中から1つ道を選び、回る(前、後、横、側転)
 (使用器具)
 ・マット2枚、テープ3種類



- 一本橋
 (動きの観点)
 ・跳び箱の上を両手を着き、背中を着いて転がる
 (使用器具)
 ・ウレタンマット2つ、跳び箱2つ、



- 洞穴
 (動きの観点)
 ・両手を着き、体を小さく丸めて回る
 (使用器具)
 ・マット、支柱2つ



- ゴムゴム小川
 (動きの観点)
 ・両腕を伸ばし、腰を高く上げ、逆さになって移動する
 (使用器具)
 ・ダンボール6つ、マット8枚

